



ふれあい



探究のシンボル「マローストーン」

校訓 「不かく尋ね たかく志す」

学園教育目標 「未来を創る」

薬物乱用防止教室(2年) ~呉ライオンズクラブの皆様をお招きして~

2月12日(水)、ゲストティーチャーとして呉ライオンズクラブの皆様をお招きして、2学年を対象に、薬物乱用防止教室を行いました。班ごとに設定された、実際に起こるかもしれない場面を想定して、薬物の誘いをどのように断るかを考えました。ロールプレイングで実際に行動してみることで、薬物の誘いを断る実践力を鍛えることができました。

【「生徒の振り返り」より】

- ・一度受け取ってから後で処分しようと考えたけど、その場から立ち去れなかった。3人に囲まれると威圧感があって、断りづらかった。本当のやりとりでも、先輩とかとても仲の良い人だったりすると、断りづらいんだろうなということが、やってみて分かった。薬物は、持っているだけでも犯罪だということを知った。
- ・薬物は持っていただけで捕まってしまうことに驚きました。誘われたらきっぱりと断る、とにかく受け取らないことが大切だと分かりました。本当にそうなった時は、言葉で逃げるのは難しそうだと思います。話を絶って、その場から離れるのが最善の手段だと思います。



学園朝会「9年生を送る会」

2月14日(金)、学園朝会で「9年生を送る会」を行いました。1年生が9年生に手作りのメダルをプレゼントした後、小学校児童委員会の皆さんの元気のよい司会進行でゲームを楽しみました。ゲームの途中では、児童生徒が思い出を言い合う場面もあり、一緒に過ごした日々を振り返ることができました。終わりの会では、副学園長の坪浦校長先生から「9年生は憧れの存在だった。1~8年生にはそんな先輩になってほしい。9年生は有終の美を飾ろう。」といったお話がありました。最後は、9年生を代表して、新田蒼さんが9年間の思い出や感謝の気持ちを伝え、会を終えました。



広南中3年間の振り返り(3年) ～自らの成長について語り合おう～

2月14日(金)、清水克博教授(名古屋学芸大学)、角田博明教授(東北学院大学)、岩城祥子指導主事(呉市教育委員会)が参観されるなか、3学年が学活の授業で、中学校3年間で経験した様々な行事・授業・学校生活を振り返り、自らの成長や課題を語り合い、「なりたい自分」を描きました。



【「ワークシート」より ～(中学校3年間で)あなたが一番成長したと思う活動は?～】

- ・ビブリオトーク(1年時)です。小学生の頃から人前での発表をずっと避け続けていたので、ビブリオトークではとても緊張したから。この緊張を武器に、これから様々な行事に積極的に参加したいと思う。
- ・落語(1年時)です。落語をしたからこそ、今の自分がいると思ったから。今でも色々なことに「チャレンジしたい」と思うし、何事も楽しいと思えて、学校生活が楽しいから。
- ・キャリア・スタート・ウィーク(2年時)です。自分が将来社会に出たらどのような活動をして、どのように働いていくのかを深く学び、知ることができた。自分の未来を明確なものにしていくことができたから。
- ・HMⅡ(広南中2年生起業企画)です。プレゼンの資料を分かりやすく作り、人に説明することで、人前に出ること、言葉を考えることができるようになったと思います。
- ・理科や数学、社会(公民)の学習が面白いと思えるようになったことが、成長したと思う。これから高等学校に進学したら、学習を楽しみと感じられる力が役に立つと思う。
- ・創作劇(3年時)です。地域の偉人である「宇都宮黙霖」の人生を描いた創作劇に取り組むことを通して、人生の壮絶さなどを学んだ。今後の人生では、黙霖さんのように、何事もあきらめない忍耐力をもって頑張りたい。

和菓子づくり体験(1・3年) ～「椿庵 博美屋」の皆様をお招きして～

2月21日(金)、ゲストティーチャーとして、「椿庵 博美屋」の皆様をお招きして、今年も「和菓子づくり体験」を行いました。「いちご大福」や四季毎の日本の風情をかたどった様々な色や形をした「練り切り」をつくる体験をとおして、和菓子の魅力を感じることができました。

【「生徒の振り返り」より】

- ・味だけでなく、見た時の美しさも大切にしながら和菓子をつくらないといけないことを知りました。和菓子を手につくった時の達成感や嬉しさを感じることができました。
- ・和菓子をつくるのはとても難しく、きれいな模様がつくれることに憧れをもちました。



スクールカウンセラー・カウンセリングのお知らせ(2月)

※今年度は、2/28(金)が最後です。教頭、養護教諭、担任等にお気軽にお問合せください。